

ノロウイルス検出キット G1/G2 -Master Mix-  
整理番号  
作成 2022年4月20日  
No.3628A



## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ノロウイルス検出キット G1/G2 -Master Mix-
製品コード	FIK-298
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
担当部門	バイオ事業総括部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途及び使用上の制限	ノロウイルス核酸検出試薬(研究用)

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
健康有害性	通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。

#### GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康有害性	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
皮膚腐食性及び刺激性	区分3
眼損傷性及び刺激性	区分2B
環境有害性	区分に該当しない

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル	-
注意喚起語	警告
危険有害性情報	軽度の皮膚刺激 眼刺激

#### 注意書き

安全対策(予防策)	取り扱い後は手をよく洗う。
応急措置(対応)	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当てを受ける。

ノロウイルス検出キット G1/G2 -Master Mix-  
 整理番号  
 作成 2022年4月20日  
 No.3628A

# TOYOBO

## 安全データシート

### 3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
ノロウイルス検出キット G1/G2 -Master Mix-	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン デオキシアデノシン三リン酸 デオキシチジン三リン酸 デオキシグアノシン三リン酸 デオキシウリジン三リン酸 グリセロール ジメチルスルホキシド 酢酸カリウム ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート 添加剤A DNAポリメラーゼ リボヌクレアーゼ阻害剤 塩化カリウム ウラシルDNAグリコシラーゼ デオキシリボ核酸 エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム 添加剤B	77-86-1 1927-31-7 102783-51-7 93919-41-6 102814-08-4 56-81-5 67-68-5 127-08-2 9005-64-5 有り (EC 2.7.7.7) - 7447-40-7 59088-21-0 - 6381-92-6 有り

#### 危険有害成分

化学名又は一般名	グリセロール	添加剤A
別名	グリセリン	-
CAS番号	56-81-5	有り
官報公示整理番号	2-242	有り
化審法 安衛法	公表	公表
濃度範囲	8.4%	0.35%
化学名又は一般名	ジメチルスルホキシド	添加剤B
別名	DMSO	-
CAS番号	67-68-5	有り
官報公示整理番号	2-1553	有り
化審法 安衛法	公表	公表
濃度範囲	3%	0.05%

# TOYOBO

## 安全データシート

### 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	大量の水と石鹼で洗う。汚染された衣類はすべて脱ぐ。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断、手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断、手当てを受ける。無理に吐かせない。

### 5. 火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
特有の消火方法	消火は風上側から行う。
消火を行う者の保護	大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置	眼、皮膚への接触、吸入を避ける。 作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。
環境に対する注意事項	環境中へは直接廃棄しない。
封じ込め及び浄化方の方法及び機材	可能な限り、砂または他の不燃性吸着剤に吸着させて空容器に回収する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	使用時は、全体換気および局所換気を行う。適切な保護具を着用して、眼、皮膚、衣服に接触しないように十分注意する。
安全取扱い注意事項	取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
衛生対策	取扱い後は十分手を洗う。
保管	
安全な保管条件	密封容器にて-20°C±5°Cで保管する。
安全な容器包装材料	本製品に使用されている容器内で保管する。

# TOYOBO

## 安全データシート

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策  
 許容濃度

換気システムを設ける。

日本産業衛生学会勧告値  
 ACGIH TLV  
 OSHA PEL

グリセロール  
 (ミスト)  
 未設定  
 未設定

Total Dust :  
 15mg/m<sup>3</sup>TWA  
 Respirable fr. :  
 5mg/m<sup>3</sup>TWA

保護具

呼吸用保護具  
 手の保護具  
 眼の保護具  
 皮膚及び身体の保護具

呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク、防じんマスク)を着用する。  
 ゴム手袋を着用する。  
 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。  
 必要に応じて保護衣を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)  
 臭い  
 臭いの閾値  
 pH  
 融点・凝固点  
 沸点、初留点、沸騰範囲(°C)  
 引火点

常温で液体であり、0°C以下で固体。各パーツは無色透明。  
 全てのパーツで臭いはほとんどない。

データなし

6.0~9.0

データなし

データなし

水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後177°Cの引火点を持つグリセロールおよび、89°Cの引火点をもつジメチルスルホキシドが残留する。

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

爆発範囲

常温では爆発性はない。

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重(相対密度)

データなし

溶解度

水に可溶

n-オクタノール/水分配係数  
 (Pow)

データなし

自然発火温度(°C)

データなし

分解温度(°C)

データなし

粘度(粘性率)

データなし

その他のデータ

データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性  
 避けるべき条件  
 混触危険物質  
 危険有害な分解生成物

通常の条件下では安定である。  
 高温、直射日光、火災などによる強熱  
 強酸化剤、還元剤  
 知見なし

# TOYOBO

## 安全データシート

### 11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性/刺激性	皮膚を刺激し、炎症を起こすおそれがある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	眼の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こすおそれがある。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回曝露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復曝露)	データなし
誤えん有害性	データなし

#### 各成分の有害性情報

急性毒性	グリセロール マウス経口:4090 mg/kg ラット経口:12.6 g/kg	添加剤A ラット経口:50mg/kg* ラット経皮:537mg/kg*
皮膚腐食性及び刺激性	ウサギ:500 mg/24hr:Mild	知見なし
眼損傷性及び刺激性	ウサギ:500 mg/24hr:Mild	知見なし
生殖毒性	知見なし	知見なし
発癌性	評価されていない	評価されていない *類似物質のデータ
急性毒性	ジメチルスルホキシド マウス経口:7920mg/kg ラット経口:14500mg/kg	添加剤B ラット経口:3730mg/kg
皮膚腐食性及び刺激性	ウサギ:500mg/24hr:Mild	知見なし
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	ウサギ:500mg/24hr:Mild	知見なし
生殖毒性	知見なし	知見なし
発癌性	評価されていない	評価されていない

### 12. 環境影響情報

生態毒性	グリセロール 魚類(ニジマス):LC50(96hr) 54g/L 魚類(金魚):LC50(24hr)>5g/L 甲殻類(オオミジンコ): EC50(24hr)>10g/L 藻類(紅藻):EC50(28hr)4.6g/L	ジメチルスルホキシド 魚類(ヒメダカ):LC50(96hr) 33g/L
残留性・分解性	グリセロールや酵素、基質等は、良分解性である。ジメチルスルホキシドは急速分解性ではない。	
生体蓄積性	生体蓄積性はないと考えられる。	
土壌中の移動性	水に対する溶解性は高いので、移動すると考えられる。	
オゾン層への有害性	データなし	
環境基準	データなし	
他の有害影響	データなし	

# TOYOBO

## 安全データシート

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告の定義上の危険物に該当しない。

国内規制

輸送に関する法規制には該当しない。

輸送の特定の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよ

及び条件

う積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

### 15. 適用法令

含有する成分には下記の法規制情報がある。

	ジメチルスルホキシド	グリセロール
化審法(特定化学物質/監視化学物質)	該当しない	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない	該当しない
労働安全衛生法	該当しない	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない	該当しない
消防法	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体
海洋汚染防止法	該当しない	施行令別表第1有害液体物質(Z類物質等)

### 16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。